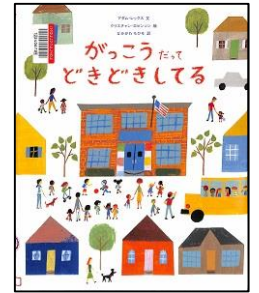


# 第64回青少年読書感想文全国コンクール課題図書

江南市立図書館では、少しでも多くの人に読んでもらうため、  
6月1日～8月31日の間、課題図書の貸出期間が一週間のみとなります。  
延長はできません。ご協力をお願いいたします。

《 小学校低学年（1・2年生）の部 》 ※貸出中のときは、予約をしてお待ちください。



【Eル】『ルラルさんのだいくしごと』  
いとうひろし/作 ポプラ社

ルラルさんのだいくしごとのうでまえは、なかなかのものです。まどやドアをなおすのなんてあさめしませ。きょうのだいくしごとは、あまもりするやねのしゅうりです。ところが、しゅうりがおわって、やねからおりようとしたら…。

【K913ハ】『きみ、  
なにがすき？』  
はせがわさとみ/作  
あかね書房

あなぐまが、にわでもどたちのすきなものをつくりたいとかがえます。でもおもいつくものはみんな、ともだちがもっていて…。ともだちおもいがからまわりするあなぐまが、やさしいことばにすぐわれるおはなし。

【Eナ】『なすすこのっぺ？』  
カーソン・エリス/さく  
アーサー・ピナード/やく  
フレーベル館

「なすすこのっぺ（なにこれ？）」「わっばどがらん（さっぱりわからん）」ひとつのはなめめぐるこんちゅうたちのにちじょうを、だれもきいたこと、よんだことのないふしぎなオリジナルげんご「こんちゅうご」でつづるえほん。

【Eカ】『がっこうだって  
ときどきしてる』  
アダム・レックス/文 WAVE出版  
クリスチャン・ロビンソン/絵  
なががわちひろ/訳

はじめてのきょうしつ、はじめてのせんせい、はじめてのクラスメート。がっこうだってときどきしてるって、していた？ぴかぴかのあたらしいがっこうといっしょに、ときどきして、せつなくなって、わらえるえほん。

《 小学校 中学年（3・4年生）の部 》



【K913ナ】『レイナが島に  
やってきた！』  
長崎夏海/作  
いちかわなつこ/絵 理論社

島の4年生は優愛たち3人だけだったので、女の子が同じ学年に転校してくると聞いて、優愛は楽しみにしていた。でも、その子はちょっと変わっていて…。里子として島にやってきたレイナと島の子どもの素敵なお話。

【Eモ】『森のおくから』  
レベッカ・ポンド/作  
もりうちすみこ/訳  
ゴブリン書房

アントニオは、深い森に囲まれた湖のほとりに住んでいました。ある夏、山火事が起きました。逃げる場所は湖だけです。その時、アントニオの目の前で思いもよらないことが…。100年ほど前に、カナダでほんとうにあったお話。

【K933モ】『最後のオオカミ』  
マイケル・モーパーゴ/作  
はらるい/訳 黒須高嶺/絵  
文研出版

戦争を生きのびた少年・ロビーは、残忍なイギリス軍に追われる。一方、狩りで殺されたオオカミには子供がいて…。孤児であり逃亡者であるという運命で結ばれた、オオカミと少年の友情と別れの物語。

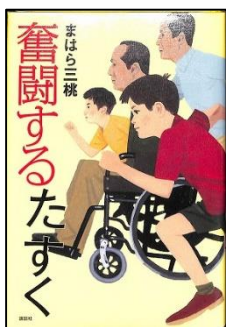
【Eス】『すごいね！  
みんなの通学路』  
ローズマリー・マカーニー/文  
西田佳子/訳 西村書店

世界中の子どもたちはどうやって通学しているの？地震や台風といった自然災害や、川の急流、険しい山道にも負けず、学校に通う子どもたちの姿をとらえた写真絵本。ノーベル平和賞受賞者マララさんの写真も収録。

# 第64回青少年読書感想文全国コンクール課題図書

江南市立図書館では、少しでも多くの人に読んでいただくために、6月1日から8月31日まで課題図書の貸出は1週間のみとなります。延長はできません。ご協力をお願いいたします。

《 小学校高学年（5・6年生）の部 》 ※貸出中のときは、予約をしてお待ちください。



K913マ 『奮闘するたすく』  
まはら三桃／著 講談社

小学5年生の佑は、おじいちゃんをデイサービスに連れていくことになった。先生はそこで見たこと、聞いたことをレポートにして提出しなさいと言う。佑は介護される人と介護する人、それぞれの気持ちに気づいていき…。



K913イ 『こんぴら狗』  
今井恭子／作 いぬんこ／画  
くもん出版

飼い主・弥生の病気が治るようにお祈りするため、犬のムツキは江戸から讃岐の金毘羅さんまでお参りに出され…。ムツキの往復340里の旅路と、道中の出会いや別れを描く。本当にあった風習「こんぴら狗」を基にした歴史物語。



K933ロ 『ぼくとベルさん』  
フィリップ・ロイ／著  
櫛田理絵／訳 PHP 研究所

10才の少年エディは読み書きができないために、ほんとうは賢いのに、それを証明することができないでいた。そんなエディは発明家・ベルと出会い…。エディとベルの友情の物語。



K66 『クニマスは生きていた!』  
池田まき子／著 汐文社

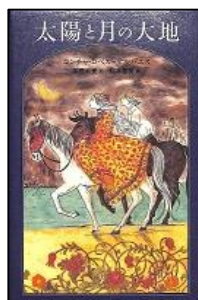
2010年12月、田沢湖で絶滅したクニマスが西湖で発見された。奇跡の魚・クニマスが私たちに問いかける「命のつながり」とは？最後のクニマス漁師だった三浦久兵衛さん・久さん親子の姿を通して描いた感動の物語。

《 中学校の部 》



K913サ 『一〇五度』  
佐藤まどか／著 あすなろ書房

都内の中高一貫校に編入した、中学3年生の真は椅子オタク。超中学生級モデラーの梨々とタグを組み、プロダクトデザインの登竜門「全国学生チェアデザインコンペ」に挑む…！椅子デザイナーを目指す少年の、熱い夏の物語。



K963ロ 『太陽と月の大地』  
コンチャ・ロベスピエール／著  
宇野和美／訳 松本里美／画  
福音館書店

16世紀グラナダ。モリスコ（キリスト教に改宗したイスラム教徒）の農夫の息子エルナンドと、キリスト教徒の伯爵の娘マリアの悲恋を軸に、宗教や民族の違いによってひきさかれ、運命に翻弄される人々をえがく。



616 『千年の田んぼ』  
石井里津子／著 旬報社

秘境の離島に日本最古の田んぼ？いったい誰が？なんのために？日本海の荒波の向こうに浮かぶ島、山口県萩市見島に刻まれた“奇跡の風景”の謎を解く。見返しに地図あり。



# 第64回青少年読書感想文全国コンクール課題図書

江南市立図書館では、少しでも多くの方に読んでいただくために、6月1日から8月31日まで課題図書の貸出は1週間のみとなります。延長はできません。ご協力をお願いいたします。

## 《 高等学校の部 》



**K933フ** 『わたしがいどんだ戦い1939年』  
キバリー・ブルム・カー・ブラッドリー／作  
大作道子／訳 評論社

1939年。2度目の世界大戦さなかのロンドン。足の悪いエイダは、けんめいに歩く練習をしていた。歩けさえすれば、弟といっしょに疎開できる！自分らしく生きるために戦う少女と、彼女をあたたく包む村の人たちを描く。



**645.6** 『車いす犬ラッキー』  
小林照幸／著 毎日新聞出版

交通事故のため自力歩行ができなくなった捨て犬のラッキー。介護が必要な彼を支えているつもりが、支えられていたのは自分だった。「ユイ（結い）」の伝統が息づく徳之島での、犬と人のドラマを通じて、命の意味を問う。



**K956** 『いのちは贈りもの』  
フランシーヌ・クリストフ／著  
河野万理里子／訳 岩崎書店

6歳から12歳まで、ナチスドイツによるユダヤ人迫害（ホロコースト）を経験した著者による手記。平和な生活を奪われ、苛酷な状況に追い込まれていく様子を、子どもならではのまっすぐな視点と透明感のあることばで語る。

★昨年以前の課題図書も「こども特設コーナー」にあります。

貸出中のときは、予約をしてお待ちください。